

## 【国体記録挑戦会】

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

### 1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ジャベリックスロー）の練習については、メイン競技場で競技開始前に使用することができる。練習を行う際は係員の指示によって行う。

#### ○補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・ 1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・ 3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路7～10レーンのみとする。
- ・ 多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
- ・ 第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子300mH、6レーンは男子300mHとする。

#### ○雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

### 2 スパイクシューズ等の制限について

①全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

②競技で使用するスパイク及びシューズについて招集所にて点検します。

※陸協HP掲載（日本陸連HP：(TR5-2：シューズ)のルール再改定について）資料を確認してください。

③点検時に規格外スパイク及びシューズと判定されたシューズは使用できません。

※故意に規格外スパイク及びシューズを使用した選手がいた場合、トラック種目では同じ組で競技した選手全員、フィールド種目では同じ種目で競技した選手全員の記録が公認されません。

④規格外スパイク及びシューズについて、審判員の注意・指導に従わない競技者には、今後の競技会参加も含め、厳しく対応いたします。

## 【国体記録挑戦会】

### 3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ①アスリートビブス（ナンバーカード）は指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横や後方につけること。

### 4 選手招集について

- ①選手招集場所は、第4ゲート付近とする。
- ②選手招集開始・完了時刻は下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド種目	競技開始40分前	競技開始30分前

※6月25日（土）実施の投てき競技（男女円盤投・男女ジャベリックスロー）は招集完了後、にメイン競技場で練習することができる。

- ③ 招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④ 2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

### 5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。  
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑦競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑧携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。

### 6 競技用具について

練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

### 7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：300m 300mH・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技

### 8 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③更衣室については、大会受付後方スタンド内通路に入って右側にあるので利用してもよい。
- ④記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。また競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示を行います。